

## 研究報告

九州歯科大学における臨床推論にクラウド型クリッカーを用いた  
参加型授業の学生による評価國領真也<sup>1)</sup> 中原孝洋<sup>2)</sup> 富永和宏<sup>3)</sup> 吉岡 泉<sup>1)</sup>

**抄録** 臨床推論は、臨床的な問題解決のスキルを習得することである。われわれは臨床実習前に参加型授業として口腔外科症例における臨床推論の授業を行っている。

今回臨床推論の授業で、クラウド型クリッカーを用いた5年次の臨床推論の参加型授業での学生の授業へのコメント記入状況と学生の満足度を調査した。

クリッカーを使用した臨床推論の、ある1回の授業における記述式問題、選択式問題それぞれの設問に対する発言者数を調査した。また、臨床推論の授業終了時に、授業の満足度に関する質問紙調査を実施した。

発言者数調査では、全設問で平均75.6%の学生が発言し、選択式問題では89.7%、記述式問題では61.5%の学生が解答し、有意に選択式問題のほうを多く解答していた。クリッカーを使用した授業には興味や関心をもてたと答えた学生は96.5%であり、この授業を全体的に満足していると答えた学生は97.6%であった。

臨床推論にクリッカーを用いた参加型授業は、学生の参加意識が高まり、質問紙調査の結果からも、学生の満足度の高いものとなった。

**キーワード** 臨床推論、質問紙調査、クラウド型クリッカー、参加型授業

## 結 言

臨床推論は、臨床医が診断を下したり治療法を決定する際の思考過程をあらわす<sup>1)</sup>。臨床推論を教育する方略としては、臨床実習時の自験、症例プレゼンテーションやカンファレンスなどでの指導医との討論などがあげられる。従来の一方向型授業は多くの知識を伝授することには効果的ではあるが、臨床推論のように思考過程を教育することは難しいと考えられる<sup>2)</sup>。

筆者らは、平成26年度から、クラウド型クリッカー「Clica<sup>®</sup>」(株式会社デジタル・ナレッジ「東京都」)；以下クリッカー)を用いて臨床実習が始まる前の臨床推論の授業を行っている。このクリッカーは、授業中の学生への問題の提示や学生の解答、解答の集計や管理などをWeb上で行うことができる<sup>3)</sup>。また、本クリッカーは出席した学生の理解度や反応を教員と学生が同時に把握することができ、発言も共有できることも特徴の一つであ

る<sup>4)</sup>。

今回われわれは、クリッカーを用いた臨床推論の授業での発言者数を調査し、学生の授業への参加状況について検討した。また、質問紙調査を行い、学生の満足度を調査し、今後の課題を検討した。

## 対象および方法

## 1. 対象者

平成26年度、27年度の5年次生165名(男性:87名、女性:78名)である。

## 2. カリキュラム

臨床推論の授業は、臨床実習前に口腔外科的疾患の症例を用いて行っている。歯科医学教育モデルコアカリキュラム、A-7-2)①②③、F-1③④⑧の内容に準じて授業が行われている。5年次の臨床推論の講義の一部で行われている。

## 3. クリッカー

クリッカーは、無料のクリッカーサービスである。参加型授業のためにコンピュータ演習室のデスクトップパソコンを利用する。授業では情報の収集から診断に至る

<sup>1)</sup>九州歯科大学学生体機能学講座口腔内科学分野

<sup>2)</sup>九州歯科大学口腔機能学講座総合教育学分野

<sup>3)</sup>九州歯科大学学生体機能学講座顎顔面外科学分野

平成28年3月28日受付

平成28年6月15日受理